

九重町将来像アンケート 結果

【質問2】九重町の今後のまちづくりの方向性について、あなたはどちらに向かうべきだと思いますか？

《②コンパクトな町づくり》を選んだ理由

原発のあった福島県あたりは、町ではなく、村とつく所が多くあり、人が少なくとも心配ないコンパクトな町を作れば良い。今は、幸せ一杯である毎日ありがたいです。感謝。

コロナによって、働き方も大きく変わりました。地方でも魅力的な所であれば、コンパクトでもどの世代も活躍できる、そんな九重町になってくれると良いです。

早く方向性を出してゆっくり進める必要がある。

①の地域コミュニティの充実は、限界があります。施設に入れないのであれば、公が世話をしたい。

極端なコンパクトはむずかしい。一部あるいは分散的にコンパクトを求めています。

人口が減少していくのは、九重町だけではなく、日本全体の方向だと思う。インフラや災害時のことも考えたら、不便な所に点在して暮らすより、まとまってコミュニティを持続させて暮らすようなコンパクトな町づくりの方が良さそう。集合住宅とか高齢者専用住宅などもっとあっても良いかも。

広く点々と人が住んでいると、介護や買い物など余計にサポートをしなくてはならない。コンパクトに住むことで、住民同士が助け合えますし、行政としてもやりやすくなる。

現状のままでは維持ができないと思うが、コミュニティがそれをよしとしないと思う。コンパクトなまちづくりを行い、再度、全てを構築しなおすようなことをしなければ、何も変わらないかもしれない。

地域コミュニティが充実できれば、それが1番かもしれませんが、実際、地域の高齢化が進み、若者が減っては難しいのかも。

地域コミュニティはすでに崩壊しつつある。それを食い止めるのは難しい。

小さくても夢のある、又、特色のある町作りを行う。企画立案に向かって実行することと、若者が残る仕事（農業）を作り上げる。工業誘致も大変厳しい時、又時代であり、現在も財産と残っている。農業面林業面の活性化を図る。

身軽い町づくり

不変と可変の部分をはっきりとさせる。変えていくところは積極的に絶対に代えられない部分は変えてはならない。

行政や医療、介護等の持続可能なサービスを受けるためには地域住民の住居がある程度まとまっているほうが望ましい。しかし、ただコンパクトにすれば良いのではなく、（昨今の新型感染症が蔓延しやすすくない程度の空間のある）そしてそのコンパクトなりの新コミュニティにおける地域連携の創意工夫も欠かせません。

子どもが思い切り遊べる公園・遊具などあり、又は花公園など大人がホッとできる様な公園広場があるとよいと思います。

独自のまちづくりを推進し、多くを望まないこと

高齢化により、住民同士の助け合い又、見守りについても、広さよりコンパクトのほうが良い。特に産業のない町に若者が残る事が今後も期待できない。

魅力のある町には人が増えるし、観光客も増えると思う。

面積の広い九重町に点在して居住していると、交通の便や生活の面でも大変なことが多い。何か所かインフラの整った拠点を作り、助け合える社会になればと思います。

小さいけど全てある、子育て、教育、医療介護など、出来ることはやる

町の中心部がない。1町3村でも構わないのでコミュニティの中心が必要。

地域コミュニティを充実させるだけの余力が既になくなってしまっているため

医療・子育てが今のままの九重町では難しい。

コンパクトでも十分まちづくりが出来るのではと感じました。

家で何かあっても近所の人から助けられる時代は終わった。隣の家も80歳を超える独居のおじいちゃん。個人が安心して暮らせる町にすべき。

働く場所を増やすにはどうすればいいのか具体的な施策を打ち出してほしい。

インターネットの普及で近所の付き合い方も変わってしまった。

人口減は確定している。行政区の見直しなどを行うべきでは。

人口減のため。

九重町将来像アンケート 結果

【質問2】九重町の今後のまちづくりの方向性について、あなたはどちらに向かうべきだと思いますか？

《②コンパクトな町づくり》を選んだ理由

行政区の見直し（統廃合）が必要

地域の若者がいなくなる。コンパクトな町をつくるしかないと思う。

人口の減は止められない。コンパクトな町づくりを考えるしかない。

地域コミュニティは失われた。そのうち、中国人に買いつくされる。

人口増加の時代においては、広い町内に分散しても暮らしていった。人口減少の時代にはある程度コミュニティを少なくして、そこに属する町民を維持していくべきかな？故郷は捨てられるけど、そこに住むにはインフラ整備の維持などは町からの支出が無くせないから。同じく公的機関もコンパクトにする。

どちらかと言われれば、コンパクトな町づくりだと思います。

高齢者を含め多くの人にとって暮らしやすい町を目指してコンパクトに集積し、歩いて暮らせる町にした方が良いと思う。

ただでさえ広い町内であるので住むところも、仕事をするところも中心に集めたら良いと思う。課題等はかなり出てくるとは思うが。

人口を増やすことも大事ですが、自分たちの町を自分たちで住みやすい町にするとよいと思います。コミュニティも大事です。"コンパクトな町"にしかできない事もたくさんあると思います。

病院、商店、学校などを核としたコミュニティづくり。

それぞれの地域の特色は大切であるが、施設の維持等にもお金がかかるため、最小限にしていく必要があると思う。スーパーやドラッグストアなどがあれば、生活面で町の中心を位置づけることができ、なおかつそこで就労する若い世代が九重町に住むことができれば、人口減少をとめるきっかけにもなると思う。

ある程度、集まったコミュニティが必要です。

賑わいがありそう。

広い土地では幅広く、きちんとした住民サービスが行き届かない。

②コンパクトな町づくりは、使わない（使えない）土地が増えることが前提となるし、①地域コミュニティの充実、今の自治体の在り方を維持しつつ、持続可能な方法をとっていこうと考える余地はある。③その他は、「日本一の田舎づくり」をテーマにしながら、全てが中途半端になっていることにフラストレーションを感じているから。例えば、持続可能なエコな暮らしを提案する町とか、IT・AI化を田舎暮らしと合体させるとか…。もっと攻めてもいいのではないかな。

私は、南区に住んでいますが、68歳の方が2人、あとは70代以上ばかりです。小中高生もいません。

分からない。

高齢化が進み、若者が少ない町にはあまり期待できないので③を選択しました。

温泉が多いので、高齢者が気軽に入れる所を地域に作って、憩いの場を作ったらどうか。

身の丈に合った町づくり。

車の運転ができない買い物難民が増えるばかりであるので、宅配制度を創設して、官民が連携して、食材から生活用品まで家庭に届ける。

どちらも重要な形だと思うが、その前の地域資源を多く作る事で、自然と方向性が形になってくると思われる。

働く場所の確保や一人一人の町民の収入増加につながる町づくり。働く所や収入が得られない場所に人は集まらないと思うので。地域コミュニティの充実、コンパクトな町づくりをしたらどうなるのか少し心配で選べませんでした

コンパクトな町づくりができれば一番良いと思うが、耕作放棄地などの土地が多く生まれることであろう。それを補う若者もいない状況ではどうしようもない。人口減少は止められない。無理をせず、規模・大きさにあった町づくりをすればよいと思う。

住むところや医療、お店、学校がどんどん減っているため、「コンパクトなまちづくり」が良いとも思うけど（みんなが便利に暮らせるから）、土地が減ることで、農業をしにくくなったり、仕事が減る人もいると思うので、どんな方向性かは思いつかないけど、もっと人が増えると良いのだろうなと思う。